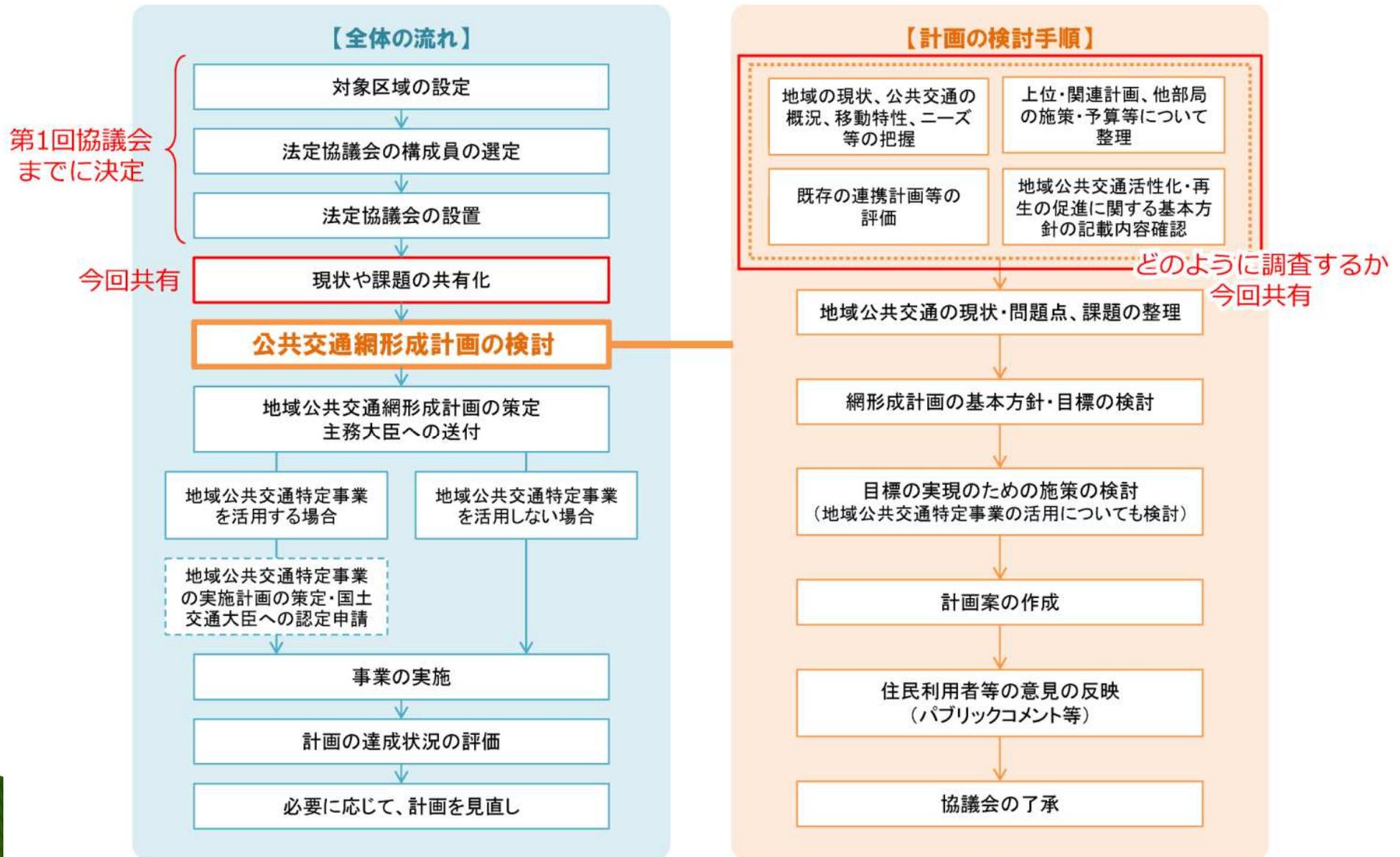


『石狩市地域公共交通網形成計画』策定に向けた 検討方針について

平成30年3月20日（火）



● 計画策定の流れ



● 前回協議会での主なご意見

▼各委員からの主なご意見

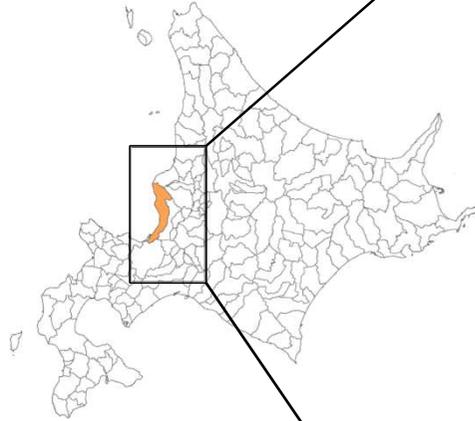
- 地域の活性化という部分で高齢者の方は大事な存在。そのまちに沢山住んでもらうということを考えなければならない。安全を考えると、高齢者に無理な運転をさせないことも重要である。
- 今後デマンドバスは増えると思うが、利用者が少なく将来通らなくなるのではないかと不安。また、土・日・祝日休みだと、急に用事あっても移動できないので、いつでも使えるように考える必要がある。
- 札幌市から新港地区に勤務する際、送迎バスの時間に併せる必要があるので、不便さがある。
- デマンドの議論のときに、各地区で意見交換をやってもらったが、すごく評判が良かったので、各地区に集まって意見交換してもらいたい。

▼岸会長からのご意見

- 地域公共交通の活性化とは、地域の活性化のこと。行く場所・行く目的があり、そこに行くための交通手段がある。両方揃ってなければならないというところが、交通を考える場合のポイント。
- ただ特定の路線を改善するとかデマンド運行するのではなく、まちづくりとの連携を考え、市全体の公共交通をネットワークとして考えることが重要。

●石狩市の特性・現状

- 石狩市は札幌市の北部に位置し、南北に約70kmと長く、西側一帯は日本海に面している。
- H17.10.1に厚田村,浜益村と合併し、新石狩市が誕生。

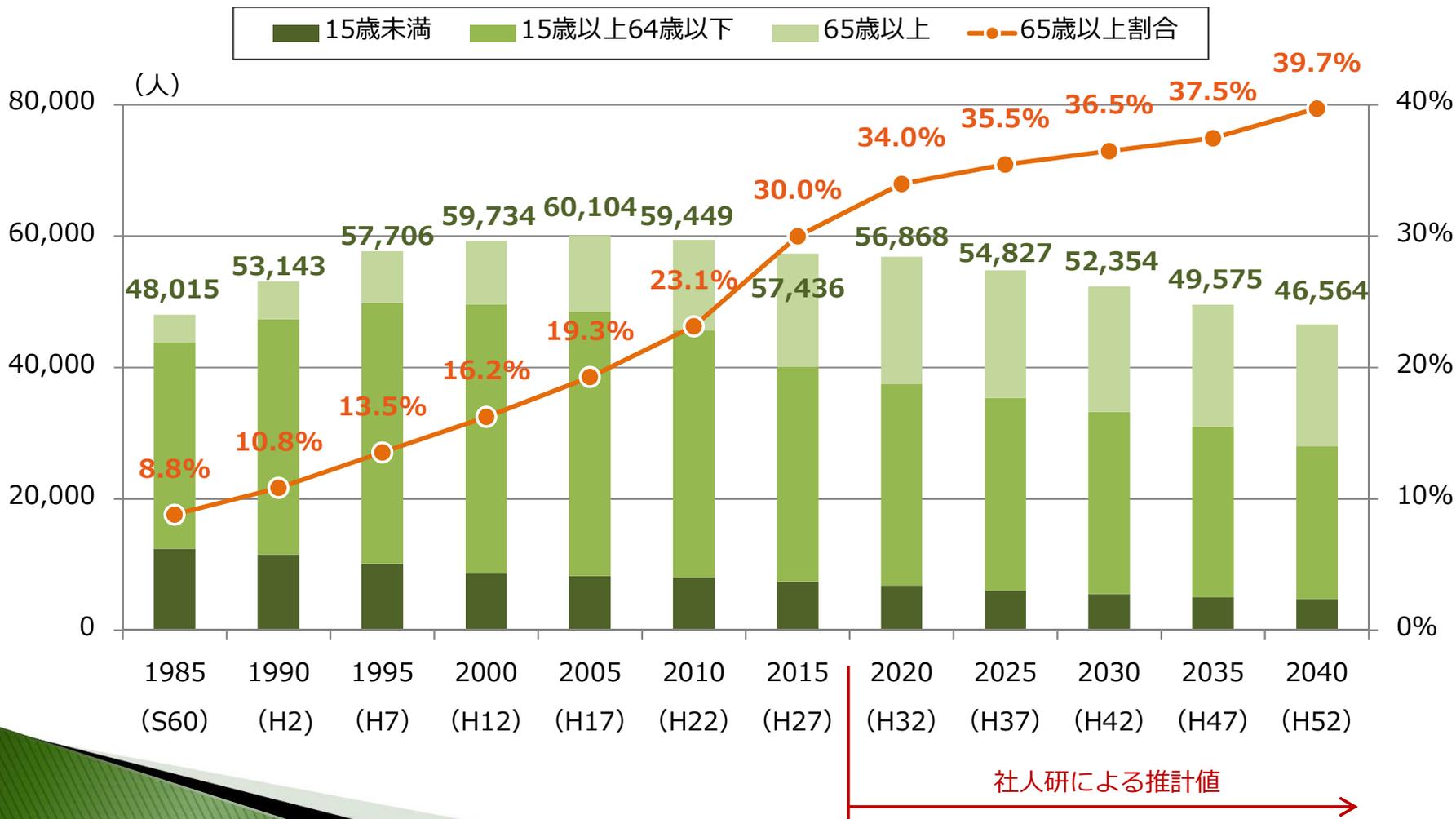


- 面積：722.420km²
- 人口：58,502人 ※H29.12末現在
(うち、厚田区1,915人, 浜益区1,352人)
- 世帯数：27,405世帯 ※H29.12末現在
(うち、厚田区1,049世帯, 浜益区794世帯)

●石狩市の特性・現状

人口推移

- H17年の6.0万人をピークに減少。2035年には5万人を割り込むと予測。
- 65歳以上人口割合は30%であり、2040年には約40%に増加すると予測。



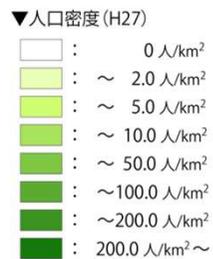
資料：国勢調査，「日本の地域別将来推計人口」（H25.3推計 社人研）

●石狩市の特性・現状

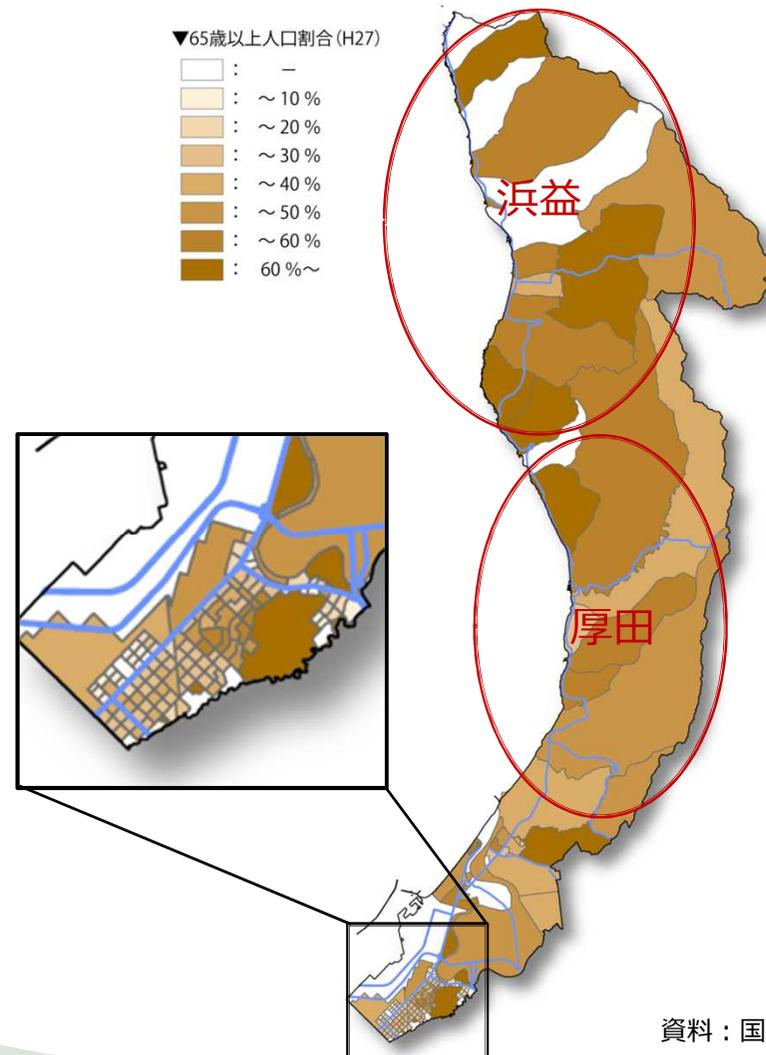
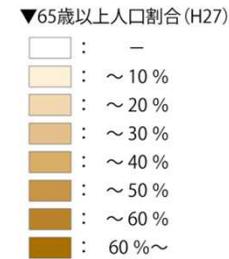
地区別人口密度・65歳以上人口割合

○旧石狩市南部の人口密度が高く、また、浜益・厚田地区では65歳以上人口割合が50%以上と高い。

▼人口密度 (H27) ▼



▼65歳以上人口割合 (H27) ▼



資料：国勢調査

資料：国勢調査 5

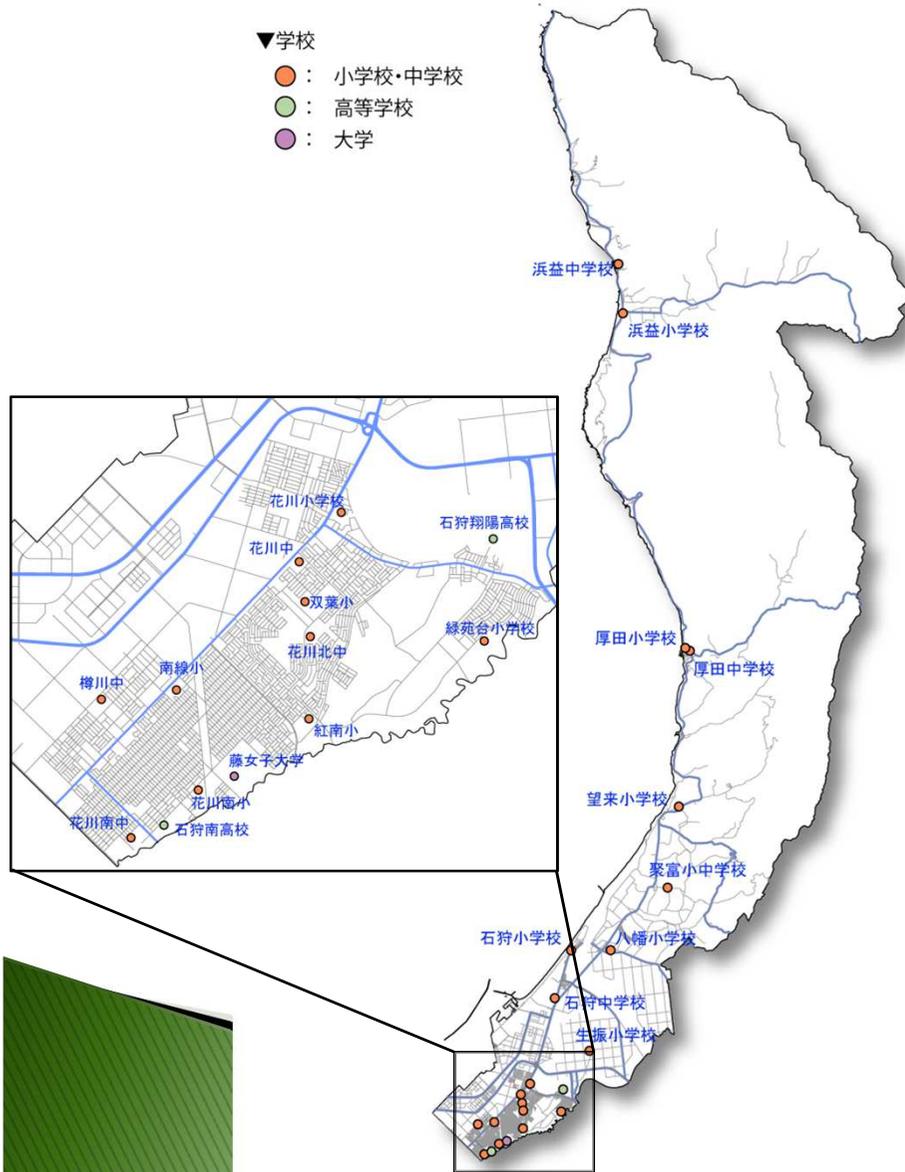
●石狩市の特性・現状

○学校、医療機関、商業施設等が旧石狩市南部に集積

▼学校▼

▼学校

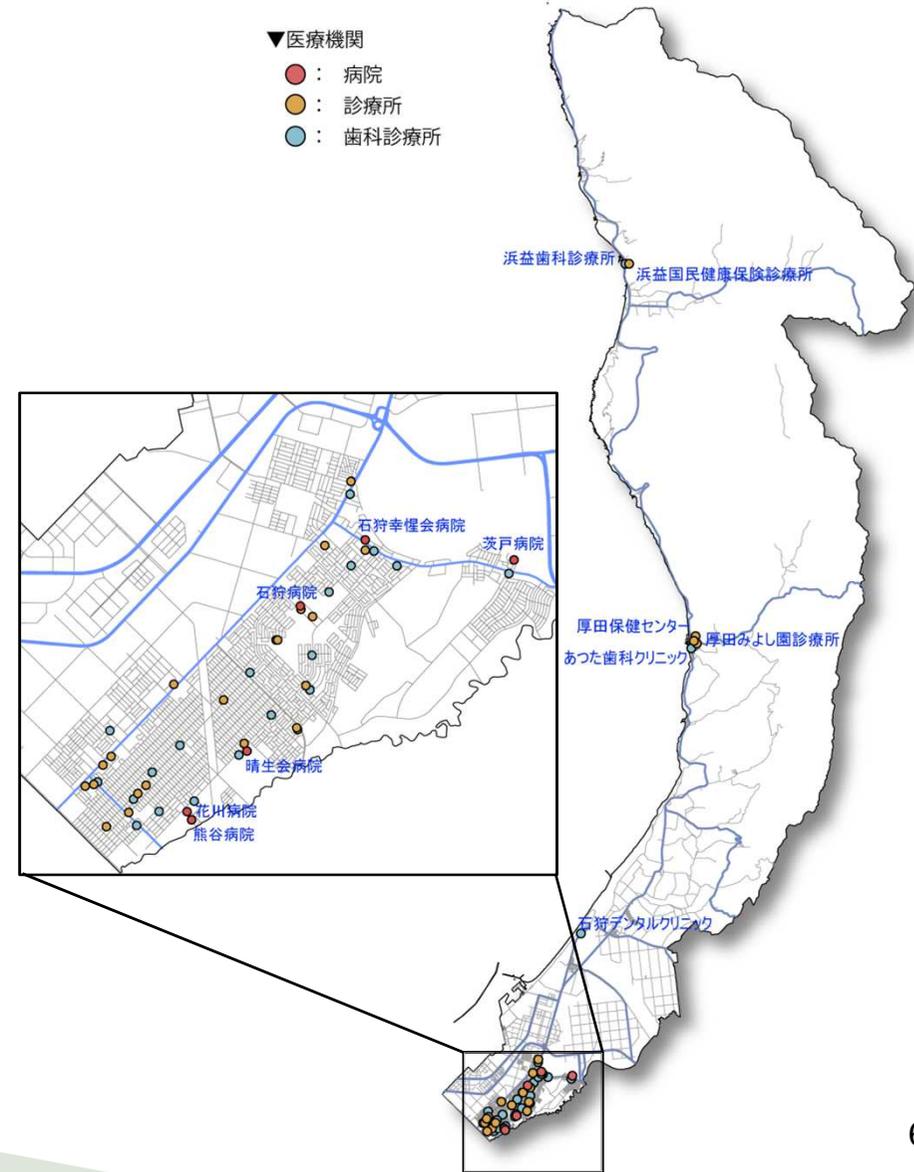
- ： 小学校・中学校
- ： 高等学校
- ： 大学



▼医療機関▼

▼医療機関

- ： 病院
- ： 診療所
- ： 歯科診療所



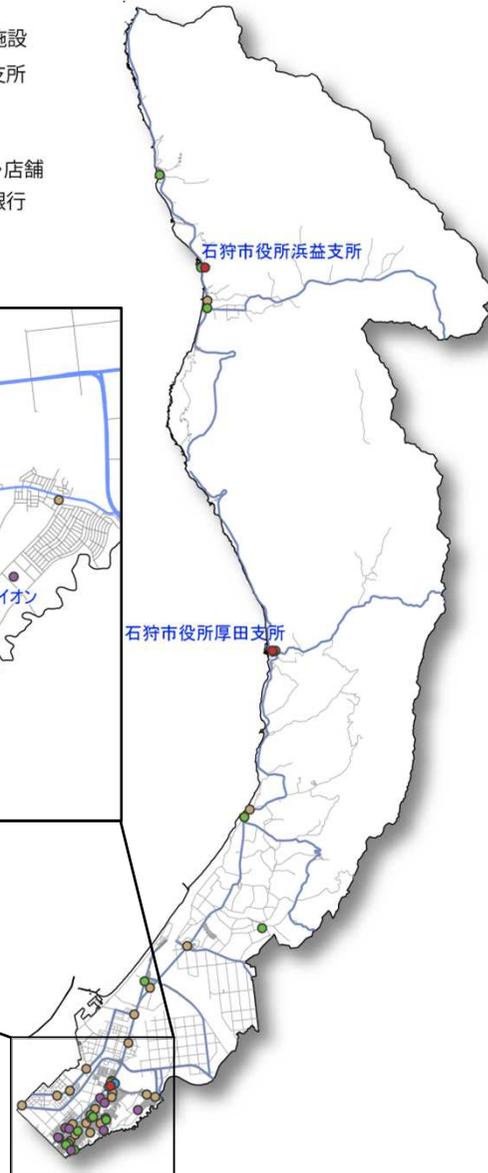
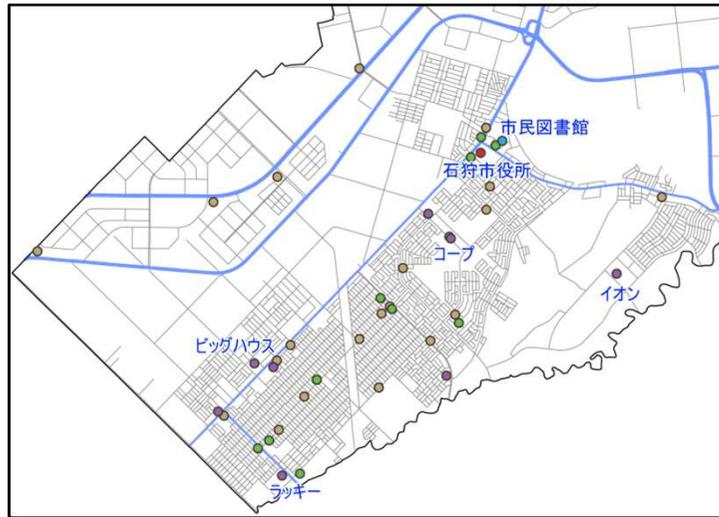
●石狩市の特性・現状

都市施設

▼公共施設・商業施設▼

▼公共施設・商業施設

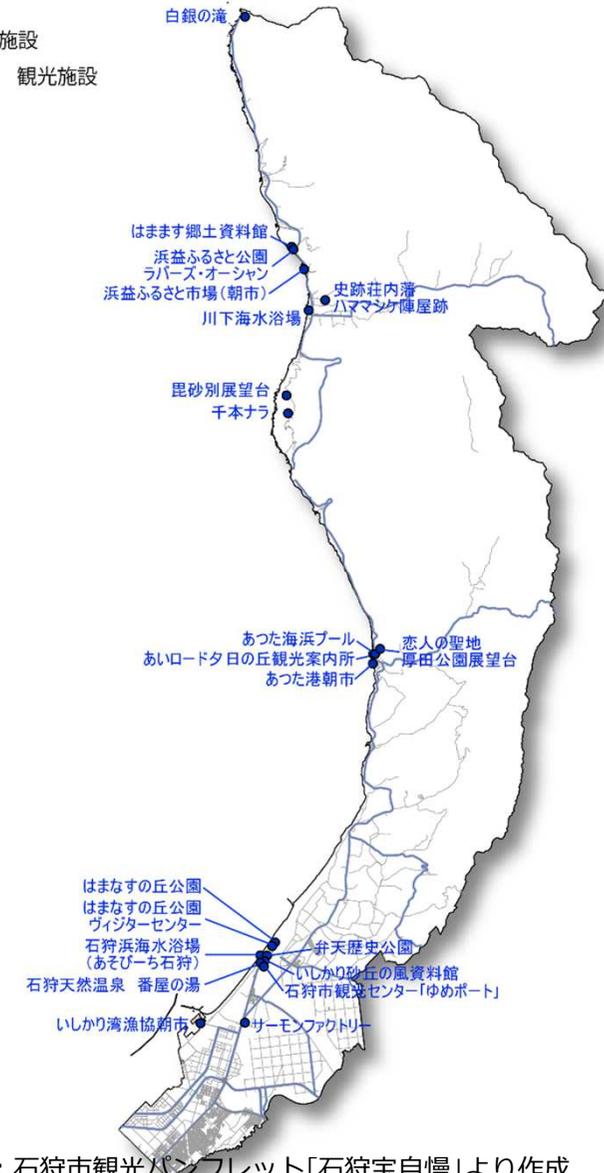
- : 市役所・支所
- : 図書館
- : コンビニ
- : スーパー・店舗
- : 郵便局・銀行



▼観光施設▼

▼観光施設

- : 観光施設



資料：石狩市観光パンフレット「石狩宝自慢」より作成

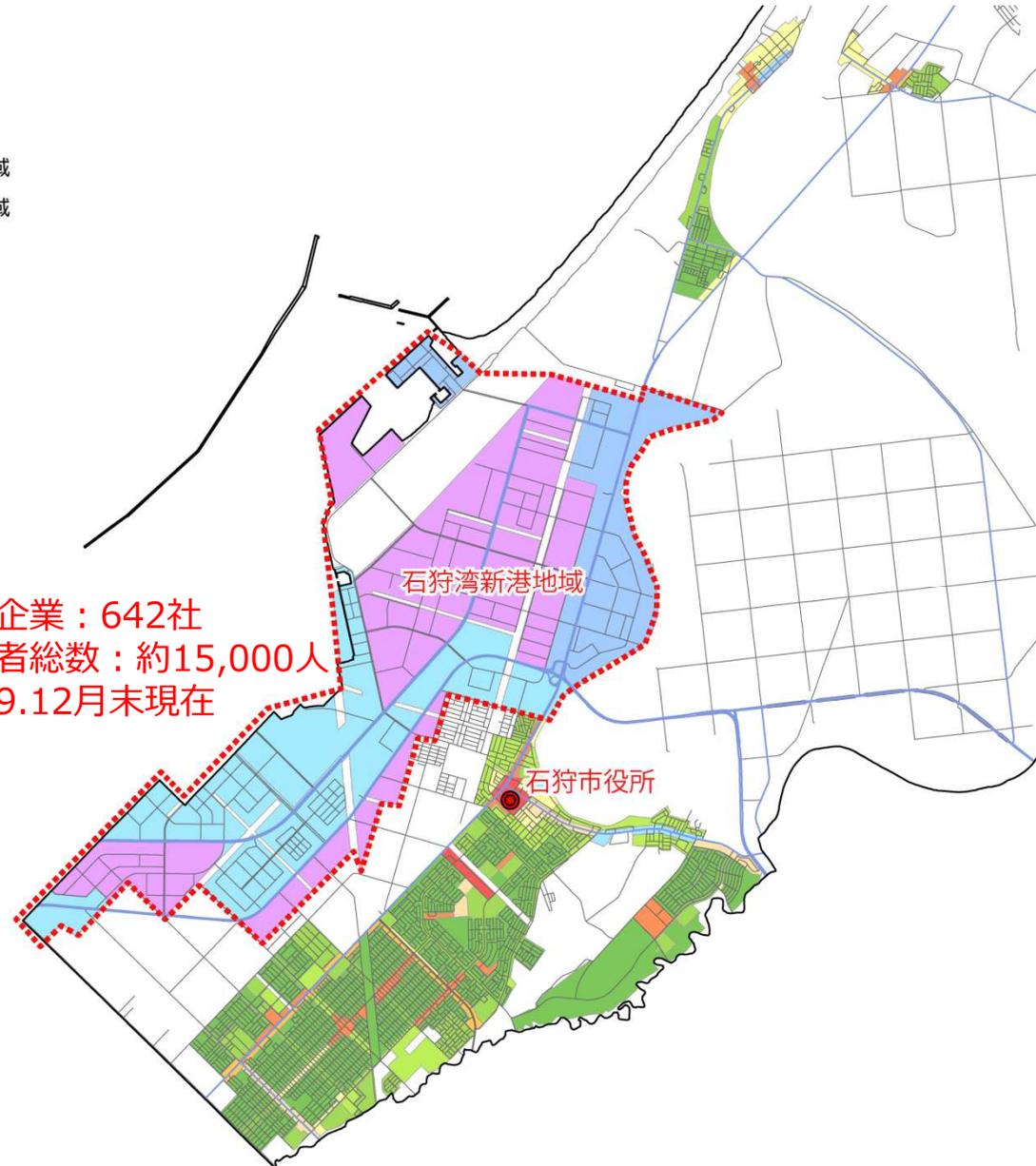
●石狩市の特性・現状

▼用途地域▼

▼凡例（用途地域）

- 第一種低層住居地域
- 第二種低層住居地域
- 第一種中高層住居地域
- 第二種中高層住居地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

- 操業企業：642社
- 就業者総数：約15,000人
- ※H29.12月末現在



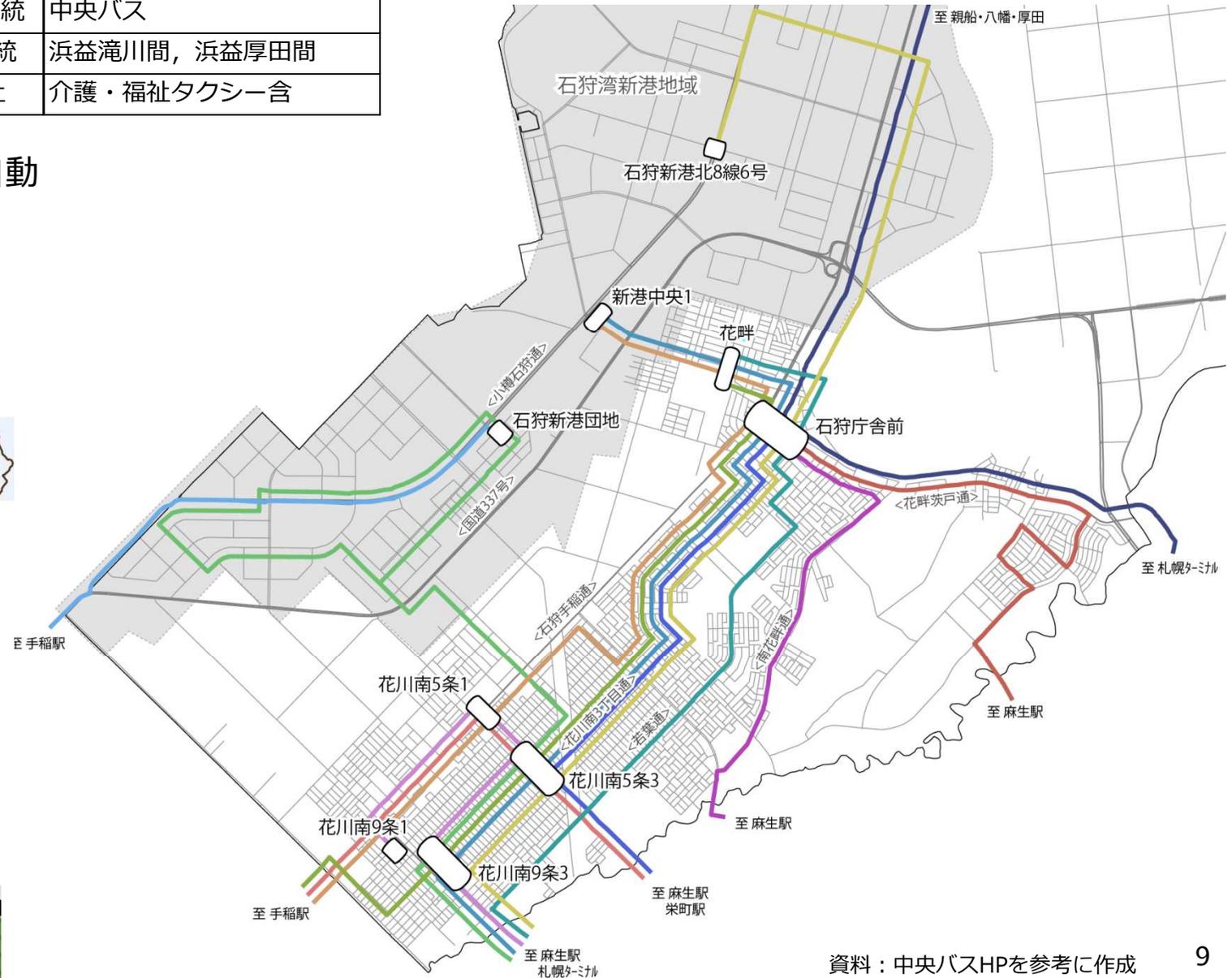
●石狩市の特性・現状

分類	本数	備考
路線バス	20系統	中央バス
デマンドバス	2系統	浜益滝川間, 浜益厚田間
タクシー	3社	介護・福祉タクシー含

▼浜益厚田間乗合自動車運行エリア▼



▼石狩市街地バスルート (H30.3現在) ▼

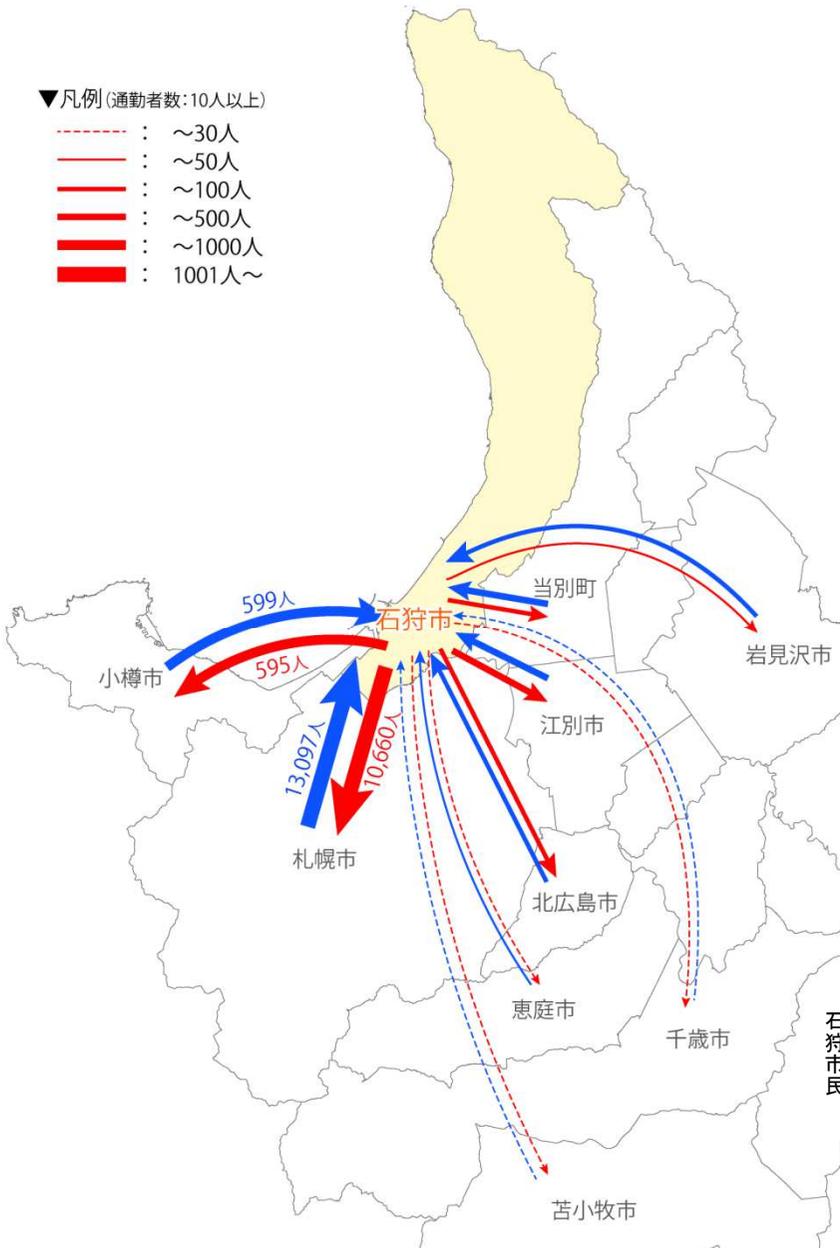


資料：中央バスHPを参考に作成

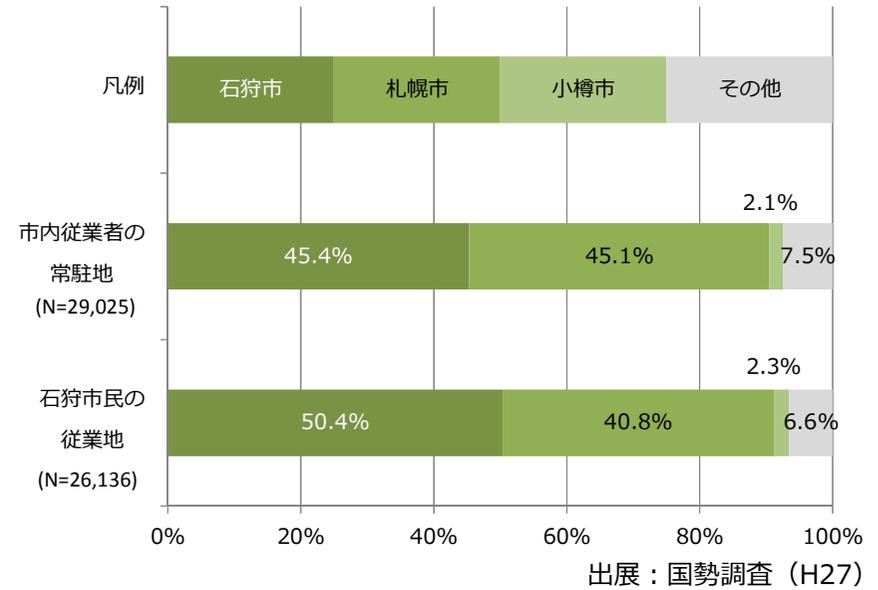
●石狩市の特性・現状

地域間流動（通勤）

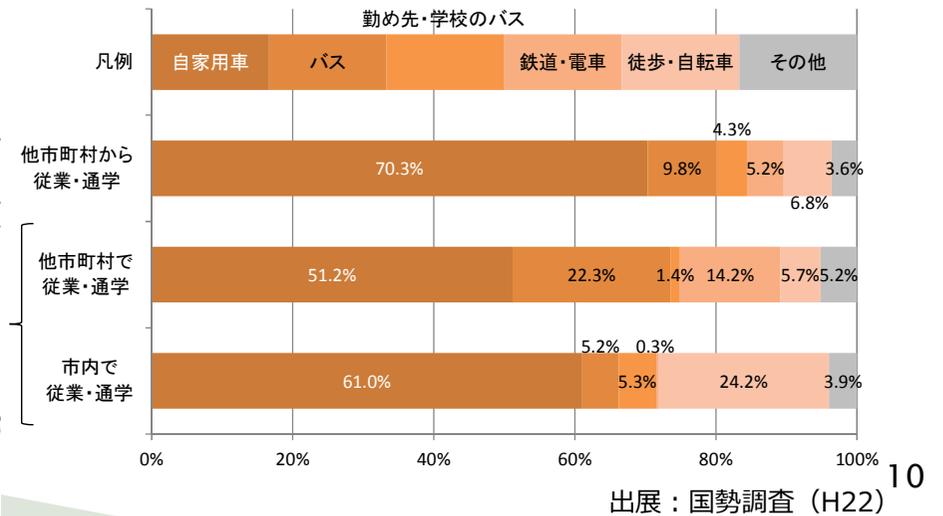
▼通勤流動（H27）▼



▼常駐地・従業地割合（H27）▼



▼利用交通手段（H22）▼



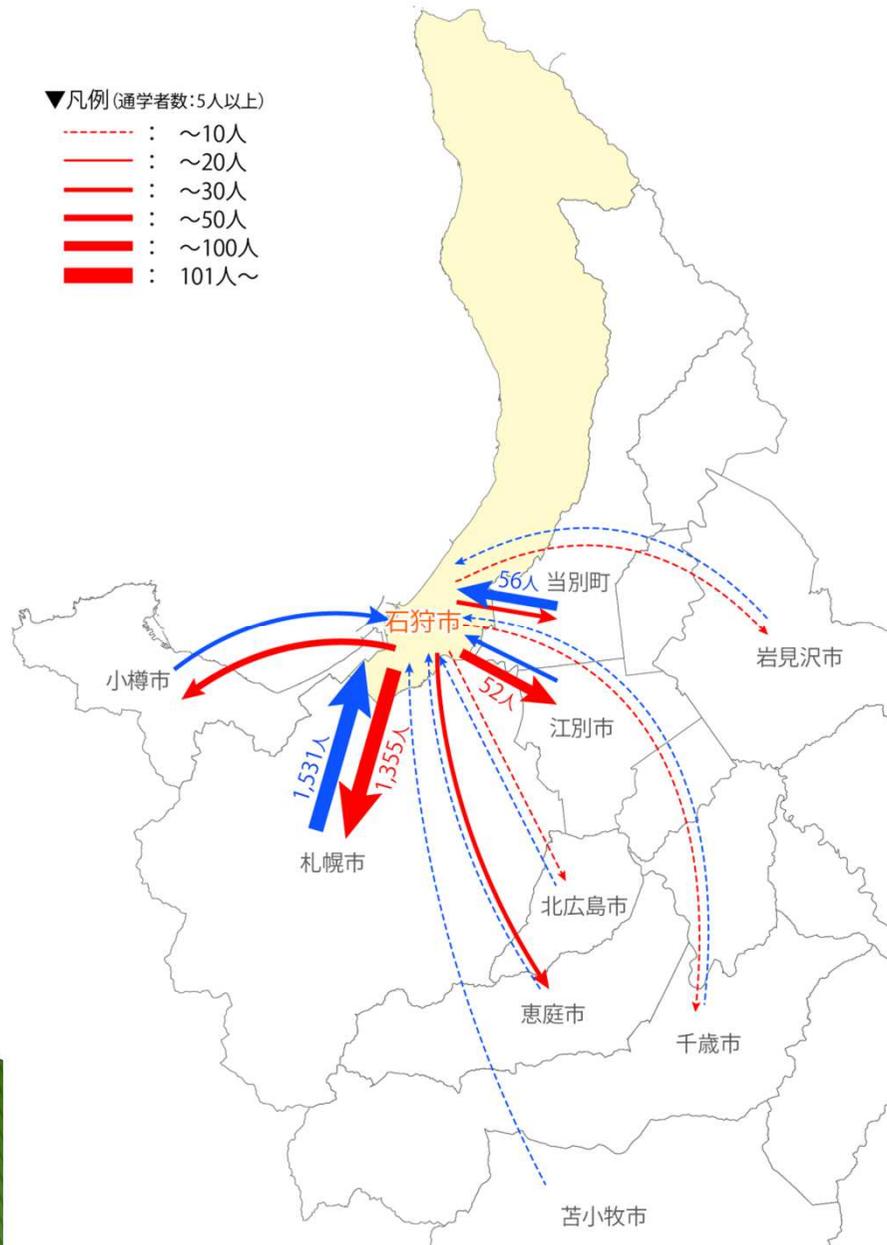
●石狩市の特性・現状

地域間流動（通学）

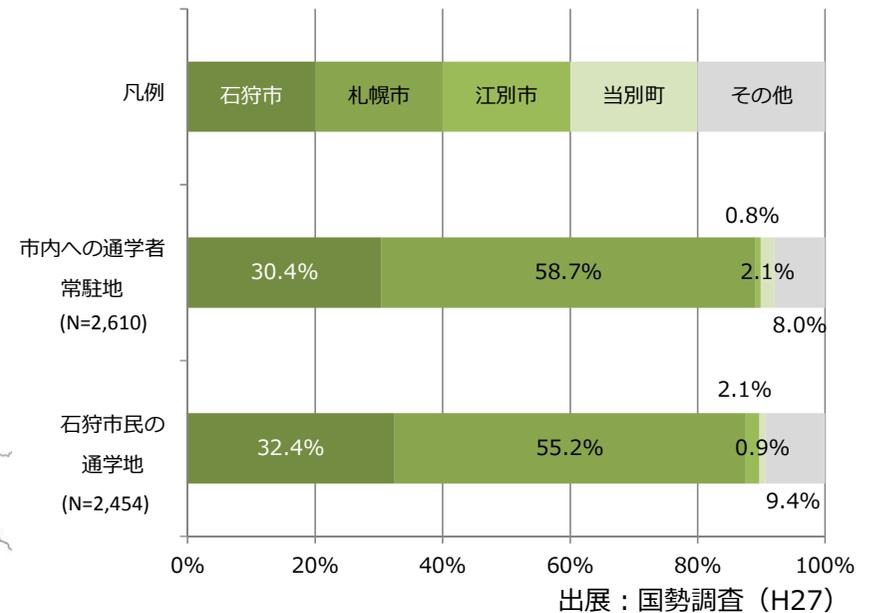
▼通学流動（H27）▼

▼凡例（通学者数：5人以上）

- : ~10人
- - - : ~20人
- - - : ~30人
- - - : ~50人
- - - : ~100人
- - - : 101人~



▼通学地割合▼



● 計画策定に向けた調査方針（案）

想定される問題点・課題	問題点・課題の把握及び効果的な計画策定に向けた調査方針（案）
<p>浜益・厚田地区では高齢化率が高く、移動面ではデマンドバスに頼らざるを得ないため、公共交通の利便性向上と路線維持のための利用率向上が課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 浜益・厚田地区住民へのアンケート調査 ⇒ 日常の移動目的，発着地，頻度，満足度，利用意向・潜在需要・改善策等 <平成29年度市調査活用> ● 地域懇談会 ⇒ 移動の困り具合，利用率向上に向けた改善策等
<p>市内では自動車分担率が高く、公共交通利用率が低いため、利用者ニーズに応じた運行形態見直しや交通空白地解消が課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民アンケート調査 ⇒ 内容は浜益・厚田地区アンケートと同様 ● 主要施設におけるヒアリング調査 ⇒ 主要な商業施設・医療機関・公共施設において、公共交通利用実態や希望する改善策等を聞き取り ● バス乗降調査 ⇒ 利用の目的，頻度，年齢，支払方法，乗継手段等
<p>約1.5万人就業している石狩湾新港地区では、公共交通が低密で移動手段が限定されているため、新港地域の公共交通利便性向上が課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業アンケート調査 ⇒ 市内外就業者の発着地，移動手段，送迎バス運行状況，公共交通利用意向，市外就業者の就業先選択条件等
<p>観光資源は市内に点在しており、周遊性を高めるための公共交通の確保が課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客アンケート調査 ⇒ 発着地，頻度，満足度，潜在需要等
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者（バス・タクシー）へのヒアリング調査 ⇒ 公共交通の利用状況，ニーズ，課題等 ● まちづくり等に関する動向調査 ⇒ 関連計画，関連施策等に関する動向調査

●今後のスケジュール

今後のスケジュール（案）

